



ぼらんていあ通信

12月号
通巻 No.469

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2020年12月22日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

ほかほかふれあいフェスタ2020 障害者週間キャンペーン



開催してよかった！ 盛大に賑わって！ ～相模大野駅北口サンデッキにて～

今年新型「コロナ」拡大防止の影響で数々のイベントが中止となってしまうが、去る12月6日(日)ほかほかふれあいフェスタのキャンペーンが開催された。

12時ぴったり、まだ日差しが届かないサンデッキの特設ステージでいよいよキャンペーンが始まる！ 鈴木秀美実行委員長は「コロナ禍の中で開催をためらっていたが、出演者の方々からは是非やって欲しいという強い要望に後押しされ開催に踏み切りました。消費 マスク着用など「コロナ対策をしっかりとや

り、障がいのある人もない人も安心して喜ばせる共生社会を目指し、障害者週間に向けてキャンペーンを実施します」と挨拶された。司会は清水美代子さんが挨拶された。

プログラム

①バンド演奏(銀河3世バンド)

相模原中央支援学校の先生方10名によるウクレレ、ドラム、ギターなどで編成されたバンド。始めに女性ボーカルで馴染みの「サザエさん」や「上を向いて歩こう」に続き、男性ボーカルで「海の声」をしつかりと聞かせた後は、「シングルベル」などクリスマスソングメドレーで大いに盛り上がり、大勢の通行人が思わず足を止めて聞き入っていた。

②車椅子ダンス

(障害者とダンスを楽しむは)

代表者の古矢野さんが「ダンスを通して、障がいのある人が人との出会いを大切にしています。今日は密にならないように工夫して踊ります」と説明。その日の黒の長



袖Tシャツの上に赤いTシャツを着て、車椅子の人と一緒に2人1組8人のメンバーが「サザエさん」「手のひらを太陽に」「赤い花 白い花」など5曲を色んなフォーメーションで踊って見せた。「友達が出来ましたね」「音楽に合わせ体を動かすのは楽しいですよ」と明るい感想が広がった。ダンスの途中で会場に日差しが差し込み、一気に見た目も実際も暖かくなると観客の人垣が一層増えた。

③ヒップホップダンス(S・N・D・F)

幼稚園児から小学校高学年までのグループが、それぞれテンポの速い曲にのって元気いっぱいキラキラのヒップホップダンスを踊って見せた。子どもたちは「人前で発表する自信がつく」「毎週1回の練習が楽しみ」などの感想を聞かせてくれた。

④よさこいソーラン(相模原よさこい合同連)

緑区の「ちやまちやま」中央区の「笑楽」、南区の「颯舞龍」の3チームが参加。「ちやまちやま」という変わった名称は、リーダーの愛称とママさんを合体したものだそう。旗手もお父さんで家族ぐるみで活動している。4歳から40歳代まで幅広い年齢の人たちがステーション杯に広がって、かけ声をあげ、鳴子を打ちながらの威勢のいいソーラン踊りを見る者を圧倒するエネルギーに満ち溢れている。最後は3本の大旗が舞つ中で全員による踊りは圧巻だった。

最後に高橋功副実行委員長が「出演の皆さま、実行委員会の皆さま、準備からのご協力、誠にありがとうございました」と閉会の言葉で幕を閉じた。

季節柄寒いのを覚悟して臨んだ皆さんは、風もなく、思ったほど寒くもなく、その上例年通り観客も多々、キャンペーンの意義は十分に果たせたと感じたのではないかと、生活介護事業所のびやかさんの手作り木工品の売り場は、2時終了後も立ち寄り人が結構いて賑わっていた。

(上崎)





2020年、相模原市社会福祉功労者表彰と相模原市社会福祉協議会社会福祉活動推進功労者表彰を授賞された方々に、このよきなボランティア活動をなされているのか、また始めたきっかけや活動中のエピソードなどを伺いました。

***吉田千代子氏**

相模原市社会福祉功労者表彰受賞

広報委員としてボランティア通信の手伝いや、今年中止になりましたが「桜まつり」でのバザーの販売また「ほかほかふれあいフェスタ」などです。

親しい友人が横浜でのボランティアを始めたのがきっかけです。その頃、私はパートに出っていたので、パートを辞めたらボランティアと決めていました。彼女は自身のボランティアの経緯を新聞に投稿、何度も新聞に載りました。彼女の足元にも及びませんが、出来ることを頑張っていますと思います。

***小山美智氏**

相模原市社会福祉功労者表彰受賞

私がボランティア協会に入会したきっかけは、以前入っていたサークルが属していた協議会から講座委員を選出する機会になり、引き受けました。その時に入会するように言われ入会しました。その後、講座がなくなった後も入会を続けています。

活動は、あじさいの会、広報委員としてぼらんていあ通信の発送や取材活動、単発にほかほかふれあいフェスタのお手伝いなどで、以前は障がい児の見守りなどもしていました。



その中で忘れられない思い出があります。障がい児の遊びの見守り時に担当した男の子、小学校の施設見学の記事に参加した時に担当をお願いされた男の子は、同じ男の子の〇〇君でした。びっくりです。施設見学は、ふれあい水族館、市役所展望台のコースでした。展望台へは、エレベーターを使わず階段で登りました。〇〇君の後を追いかけてながら、息はハアハア、心臓はバクバク、1階から展望台まで登りました。こんな偶然があるんですね。いい体験でした。

***前島幸江氏**

社会福祉活動推進功労者表彰

事務局員として入会しました。仕事は、HC入会希望の連絡を受けたら、申込者宅へ訪問し、利用内容の説明、お互いに内容確認後、入会の手続きをする。

利用者から申し込みが入ったら、日時、行き先を聞き、HC運転ボランティアに内容を伝えお願います。書類を作成。
事務局で手芸サークルを立ち上げております。桜まつりに場所を提供していただき、市民の皆様から寄付していただいた材料を元に、手作りの品を販売し、売上金を協会へ寄付しています(バッグ、編み物、帽子など)。

ボランティア協会に入会したきっかけは友人の紹介です。
忘れられないエピソードは、運行決定されていた利用者から、突然キャンセルの連絡が入り、事務書類の取り消しは直ぐ行ったのですが、運転ボランティア



ヘアへの連絡を忘れておりました。当日出勤したところ、運転ボランティアの方が出勤しておられ、その時キャンセルの連絡をしないことに気が付きました。でも運転ボランティアの方は、別の用事があるのと、快く許してくれたことがありました。
良き先輩、良き同僚に支えられて、今回の受賞に至ったと思います。とても感動し、感謝致します。今後とも表彰を支えに、元気で続けていきたいと思っています。

皆さま、おめでとうございます。健康に気を付けて、今後ともよろしくお願いします。活躍をよろしくお願いいたします。



1月の記念日は？
小倉義男

1月26日、オーストラリアの日です。1788年のこの日、オーストラリアの最初の移民団がポート・ジャクソン湾に上陸したことから、記念日として制定されたそうです。世界の富裕層が最も移住している都市が、スイスでもアメリカの都市でもなく、オーストラリアのシドニーだそうです。確かに素敵な都市ですよ(〇〇)

小倉画



クイズに挑戦!
雑字クイズです。

- ①ドライアイスは何が固まったもの？
- ②面積が一番小さい都道府県は？
- ③「耳かき」のフサフサの部分の名前は？



市内活動グループ訪問記

ボヤマス

スピッツェンパフォーマンスを訪問

11月10日、市立けやき会館の体育館に「チャレンジドチア」の練習におじゃまして来ました。「チャレンジドチア」とは、障がいの種類、重症度によっては有無に関わらず誰もが参加できるチアリーディングチームです。

NPO法人スピッツェンパフォーマンスは子どもたち、障がい者及び高齢者などに対して、競技力向上や運動機能向上を目的にスポーツやトレーニングを通して健全な心身の育成を目指しています。また、指導者の育成や派遣も行いスポーツ振興の発展に寄与することを目的として活動しています。

チャレンジドチアには障がいに関して研修を受けた経験豊富なチアとダンスのインストラクターが子ども達の個性に応じて丁寧に指導しています。

当日は、車イスの親子や体験者の親子を含めて10組の参加でした。まず準備運動からです。マスクをして間を空けて、座って両足を開き足の裏と裏を合わせ上



練習を終え、みんなでにっこり♪

下にパタパタと。Y字バランスでは少し親に支えてもらいみことなY字バランスができました。

子どもたちが練習を行っていた間も子どもたちの様子を見守りながら、保護者に話しかけているスタッフの浦野さんにお話を伺いました。

「わがままな障がいの度合いにより、できる事、できない事があるが、その中でもその子ができる事を見つけて伸ばし、必ずその子が輝ける場面を考えた演技構成にしています。無理強いすることなく『やめる』『やらないう』と聞きながら個々の特性を見きわめながら行っています。今コロナ禍の中でできない事も沢山ありますが、できる事をやっています」

毎年行われるチア&ダンスの全国大会のエキシビジョンにも出場しているそうです。障がい者と健常者が一緒に行うチアのチームとして日本で初めて作られたチームだそうです。

休憩中この組の親子にお話を伺いました。「楽しく通っています」「踊るのが好きだったので楽しいと言っています。またこのときはお友達に会えるのを楽しみに通っています」「と話してくれました。やはりのお母さんもお楽しんでいる様子の子どもたちの姿にマスク越しにでもしっかりと見守っている表情が感じられました。

練習が再開され、先生のかげ声に合わせてリズム

カルに動く子どもたち、時にはお父さん、お母さんに手伝ってもらい本当に楽しそうです。また金色のポンポンを持つ練習では、美女と野獣の音楽で更に楽しさが伝わってきます。ポーズが決まった時には私たちが取材側も思わず拍手です。

最後に、この子どもたちの指導を4年以上行っている平田コーチにもお話を伺いました。「初めてレッスンをした時は全然まよまよバラバラなレッスンチームだったのでけれど、だんだんと健常の子が障がいのある子をサポートしてお世話をしてくれるようになり、今日はダウン症の中学生が小さい子にフォーメーション(位置)を教えてくれたり並ばせてくれたりしました。他の子と比べることで刺激になっているように子どもの成長がどんどん見えなくて苦労はないですね。保護者の協力が大きいです」とこやかにお話ししてくれました。

子ども達の頑張りにより、保護者スタッフの皆さんが愛情をもってサポートする姿がありました。早く新型コロナウイルスが終息して練習の成果を発表できる日がくると思います。その時はほかほかうれいくださいね。他にもぜひ出場してくださいね。ありがとうございました。(小山)



*NPO法人 スピッツェンパフォーマンス
代表理事 多田久剛
Email info@spitzen-performance.jp

クイズの答え!

- ①二酸化炭素 ②香川県 ③梵天



理事会報告



12月12日(土) 定例理事会(理事7名出席)

一. 報告事項

・第48回市民様まつりは参加者を集めての開催はしないとの通知があった。

二. 委員会報告

◆ 広報委員会・ぼら通部会

・ぼら通1月号は25日印刷、26日発送

・会長の新年挨拶、講座検討委員会だよりなど掲載

◆ 広報委員会・わくわく部会

・50号の発行は1月23日

◆ ハンディキャップ委員会

・12号車の納車(6日) 各種手続きの実施

◆ 事務局委員会

・新規利用会員登録入会者名、今後は受付を中止する。

◆ 講座検討委員会

・Zoomを使用する会議の進め方」の講座を2月17日開催予定。

◆ 傾聴委員会

・活動の場合はコロナ対策を徹底し、利用者の意向を重視するようを確保。

◆ その他

・ほかほかふれあいフェスタは総括を本部役員会議で行った。

障がいのある人も楽しめる

「新春ボウリング大会」中止のお知らせ

令和3年2月13日に開催を計画していましたが新春ボウリング大会は誠に残念ですが新型コロナウイルス感染症

防止の為に中止するようになりました。



・DVD制作実行委員会では「ボラ協の紹介」と「ハンディキャップ事業の紹介」の制作を進めている。

三. 審議事項

◆ 新型コロナウイルスの感染予防対策についての確認。

・市民活動緊急支援助成金の申請をした。

・事務局にパーテーション設置を実施。

◆ 新春ボウリング大会について

・担当者の経過説明があり、このところの感染拡大の状況と例年参加する団体の不参加を考慮し、今年度の開催を中止とした。

◆ 会費未納者についての事務処理の再確認をした。

四. その他

◆ 年賀状の文案を決め、送付先の確認をした。

(次回理事会 1月9日(土) 10時より)

相模原ボランティア協会 1月の予定

日	時間	内容
9(土)	10:00~	定例理事会
13(水)	13:00~	広報委員会ぼら通部会
13(水)	13:30~	講座検討委員会
14(木)	13:30~	役員選出管理委員会
16(土)	13:00~	事務局委員会
17(日)	10:00~	HC委員会
21(木)	10:00~	DVD制作実行委員会
23(土)	10:00~	わくわく50号発行・印刷
25(月)	13:00~	ぼら通1月号印刷
26(火)	13:00~	ぼら通1月号発行

※事務局年末年始の休み 12月29日(火)~1月3日(日)

家具転倒防止活動が



ボラ協の事業となりました

従来ボラ協が窓口のみを担当し、相模原災害ボランティアネットワーク(SSV)が活動を行っていましたが、主力メンバーのリタイアを契機に市の危機管理課の支援を得て、防災士からもボランティアを募集してボラ協の事業として引き継ぐことになりました。ただし、現在は新型コロナウイルス感染症の蔓延を考慮して活動は休止しています。

Zoomを学ぶ講座

講座検討委員会 西本 敬

新型コロナウイルス感染拡大のために、涙をのんで講座は休止してまいりましたが、現在は、来年の2月に春講座として、「ボランティアグループのためのオンライン会議開催 講座」を実施すべく鋭意準備を進めています。

Zoomは3密を避けるための手段として、既に広く使われていますが、改めて学習し、会えなくてもできる活動の助けになるものご期待しています。

ただ、この講座も3密を避けるために広い室内で少人数で考え、普段、当協会とお付き合いのあるボランティアグループや地域で地区版のボランティアセンターをやられている団体を中心に少人数で行います。ご期待ください。

講座検討委員会はこちら先立ち

社協の加藤さん、井上さんに、Zoomの使い方を講習していただきました。



会員のひろば



会員のひろば「活動」の
じよぶ趣味な自由「語」って
だのコーナーです。



54年の仕事人生を終えて、さて次は

畑 一美

72歳で仕事を辞めた時、仕事以外何もしてこ
なかつたし地域とのつながりもない事、両親も
兄弟も皆見送りの一人残った。「これからどうす
れば自分をどう処すれば良いのだらう」と考えは
堂々巡りするだけ。

まずは1年間勉強してみようと都内にある大
学（セカンドステージ大学）に入った。同級生
は50歳から80歳の100人。それぞれの人生
を生きてきた人々のお話は唯々驚きで楽しく聞
かせて戴き、また先生方のお話も色々な分野に
及び、若い学生さん達と同じ教室で学ぶ事もあ
り楽しい1年間でした。この世の中、知らない
事のいかに多い事か、自分の世界がいかに小さ
いかも…。

何をやるにも自分の住む地域にしっかりと足
を着けていこうと思ひ、相模原市の地域づく
り大学を受講、それと私に出来るボランティア
活動はあんなうかつかと広報で目にした傾聴の講
習会を受講、2018年2月の事だったと思ひ
ます。

受講してはみましたが、私に出来るかなと不
安な気持ちもめりました。何しろボランティア
なるものは初めての事なので、経験豊富な皆様

の前ではがむしゃまな方でした。

数か月後に先輩について、まずは体験を同
行させて頂きました。何も言わずお話を聞
いている1時間はとても長く感じました。そ
の後その方の担当も外れ、その後2人ほど1
回きりで2回目は無く、なぜか私の方が落ち込
み私には回かないのではと悩むようかとも思
いましたが、先輩方のお優しい心へはと励まし
で続ける事になりました。

そして今年、軌道に乗るかと思いましたがコ
ロナ騒ぎ、年初めには誰も思わなかったこと
でした。それでも6月からは再開できました。3
人体制が2人ずつシフトを組むことになり、同
行者同士の連絡も心せねばと思われず。現在
は3人の方を担当させて頂いておますが、そ
の方々のお話もまた私には「あ〜そうなんだ。
凄いな」と感心し教えていただくこともありま
す。ただ1時間の間、耳を傾けて来るだけで
ので役に立っているのかこの思いもあります
が、利用者様の「次も楽しみにしているよ」と
のお言葉にこちらが逆に励まされます。

それなのに先日つかつにも、喉の痛みから風
邪を引いてしまい同行者の方にご迷惑をお掛け
してしまいました。何をやらせていただくにも
まず、自分が健康でなければ何も出来ませぬ。
肝に銘じてまいります。

コロナが1日も早く収束し、
普通の暮らしが戻ることを祈
ります。



ハンディキャブ12号車が納車されました

ハンディキャブ10号車（ニッサン・セシナ）を廃車し新たに
12号車を購入しました。

10号車は平成17年（2005年）日本財団の補助を得て購入
したもので、以来14年間、南地区で活躍してきました。走行距
離は約8万kmでした。車椅子の昇降がリフト方式で補助席も回
転昇降する本格的な福祉車両です。車体が大きく、狭い道路で
は苦労したとの先輩達の感想ですが、懐かしと思う方は多いと
思います。改めて長年活躍してくれて10号車に感謝する次
第です。

今回購入した12号車（タイタン・タント）は車椅子乗降のた
めのスロープがついている軽乗用車です。日本財団の補助は3
年連続落選のため断念しました。形が小さく乗りやすく、車イ
スを使用しない場合は後部座席を使用することが出来ます。ま
た、衝突防止等の安全装置が装備されておりカーナビやドライ
ブレコーダーも付けました。去る12月6日に納車し説明会を行
いました。

ハンディキャブ委員会



お疲れさま ハンディキャブ10号車！



12号車 これからよろしくお願ひします！

安全運転で
頑張るぞ！





ボランティアさん募集！

魚釣り遊びの「魚」の絵描きボランティア



依頼者 中央ボランティアセンター

内容 高齢者や親子の地域交流の場でレクリエーション道具として活用されている

「手作り魚釣りセット」の魚がボロボロに…。

**普通紙に魚（海洋生物）の絵を
描いてくださる方募集中！**

※絵を描くための道具の貸出しも可能です。

ぜひご協力ください。

連絡・問い合わせ先
相模原ボランティア協会あじさい連絡所
電話 042(759)7982
相模原市社協 中央ボランティアセンター
電話 042(786)6181
メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《…初めてのクリスマスプレゼントは何？》
《…今月のイラスト》



40年誌（40年のあゆみ）

編集委員募集！！

会長 高橋 功

ボランティア協会は1981年6月28日に設立され、2021年6月で丸40年となります。協会では、区切りの10年ごとに「設立10周年記念誌」、「20年のあゆみ」そして「30年の歩み」を作ってきました。理事会として40周年記念誌を作るという方向で10年間の事業の整理をしていきたいと思っています。今回は会員の中から広く人員を募集し特別委員会組織にして検討していきたいと思っています。皆さん是非応募していただき将来につながる40年誌の作成や記念行事なども含めて検討して頂ければ有難いと思っています。



ほかほかられあいフェスタ2020特別イベントのDVDが障害への理解を進める情報発信サイト「さーくる」にアップされています。覗いてみてください。

URLは <https://sagamiharashi-shougai.com/>



編集後記

姿の见えない大敵「コロナウイルス」に脅威を感じてはいるけれど、あまりにも長期間に亘っていることに注意力が持たないのか、うっかりしてマスクを忘れ、慌てる事もたびたびです。今一度気を引き締めて頑張りぬきたいものです。そして元気で新年を迎えましょう。(植)

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<11月の寄付者>

ただ かすお
多田 和夫 様

他7名の皆様からご寄付をいただきました。

<11月の寄付金>

総額 57,720円でした。

